

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記	ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語)	(1)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1706.82	オトユビ <廃>	オヤユビ
1715.53	odojumbi (juがjになるようだ)	
2712.33	オドユビ 古	オヤユビ
2720.75	オドユビ 老若共にいう	
2741.46	オヤユビ <オドユビは(隣町木古内から縁づいた)妻が使う>	
2750.43	オドユビ <普通に使う>	
2761.44	odojumbi <古>	ojajumbi
2761.77	odojumbi <少い>	ojajumbi
2763.89	odojumbi <古>	ojajumbi

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( ) ( ) は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記	ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語)	(2)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
2772.05	odojūbi <古>	ojajūbi
3712.89	fēbikasira (昔)	odēbi
3727.21	オデユビ <古>	オヤユビ
3742.82	odojūbi (昔)	ojajūbi
3757.09	ōde'jūbi <大手ユビの意>	
3761.74	odojūbi (古)	
3762.42	ojūbi ojūbiの[O]はやや長音。(半長とみる)	
3765.28	o'de'jūbi <古>	ojajūbi
3767.87	オデユビ <古>	オヤユビ
4609.54	ojōbi <普通>	ojūbi

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記	ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語)	(3)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4619.29	ojajõbi (改った際はオヤヒともいう由)	
4629.43	ojũbi <最も普通>	o:jũbi , ojzjũbi
4638.22	oja'èbi. èは非常に狭いe	
4648.42	ojajobi (やや改まった時の発音)	ojaembi
4695.21	ojajmbi juのu音はかすか	
4696.82	ojajobi (新)	ojaebi
4715.33	[o:jmbi] <古>	ojajmbi
4716.20	ojajmbi o:jmbi (両者の使い分けはないらしい)	
4726.80	[odejũbi <古>]	ojajũbi
4736.63	ojmbi <古>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) ( ) は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記 ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (4)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4742.95	[hebi kasira] <ユ><稀> (蛇頭)	ojajumbi
4743.44	o:jũbi (共通語もこれと同じだと思っている)	
4744.32	o:ẽbi (大海老といふときと全く同じ発音になる。)	
4762.56	ojajũw̃bi <古>…(音韻としては上の語形と同じであるがこの音声は古いもの)	ojajũbi
5472.31	オヤユビ <多>, オヤエベ <稀>	
5499.98	オヤイベ. オヤユビは小学校に行くような子供から十六・七才まで. それ以下. それ以上の人はすべてオヤイベを用う.	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記	ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語)	(5)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5564.76	ojaj <u>ü</u> bi (üはiに近かりしか)	
5590.53	オヤユビ ュビは時に jbiとなる事あり。 064~067もこれと同じ。	
5602.99	ojaebi <古>	ojajubi
5604.52	ojajobi (やや改まった時の発音)	ojaebi
5604.65	オヤ <u>エ</u> ビ <u>エ</u> はユの如く <u>エ</u> の如く <u>イ</u> の如く あいまいな音。	
5609.26	oja' <u>j</u> ubi iはややe寄り。	
5612.98	ojaj <u>u</u> bi juのuは無声化しているのかは ききかれない。065まで同じ。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記	ページ
項目名 おや指		[B 除いた共通語]	(6)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5613.53	ojaj <u>ju</u> bi      ju 不明りょう uが無声化するの か、脱落するのか？	
5615.28	ojajobi <上>	ojaɛbi
5622.48	ojaj <u>ju</u> bi      juの音が不明りょうである。uか 無声化するのであろうか。	
5655.57	オヤユビ (共)	
5657.73	オヤユビ (共)	
5666.18	オヤユビ (共)	
5669.96	ojaebi <古>	ojaɪbi
5687.32	オヤユビ      オヤイビのようにも聞えた。以下067 と同一。	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記	ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語)	(7)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5703.70	ojajubi <ʃebikaʃa などというのを山の方 (父の生家)マキいた。>	
5741.25	ojaibi <ojibiという人もいる>	
6349.09	ojaibi <多>	ojajubi
6354.46	onikoroʃi <子供の時分に使った>	ojajubi
6415.23	ojaibe <古>	ojajubi
6415.80	ojaibe <古>	ojajubi
6428.26	オヤヒ<古>	オヤユヒ
6437.07	オヤイベ <単に指そのものの名はイベ>	
6448.61	オヤイベ <古>	オヤユヒ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記	ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語)	(8)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6476.17	オヤイビ (イビは時にユビにきこえるときもある。はきり言わずとイビという)	
6476.92	オヤイビ オヤユビ (本人はユビと意識しているが、さう言わせてみると、最初は、オヤイビとなっ ほうようである。)	
6476.93	オヤビ この語にかぎって「イ」が消えてオヤイ とはいわない。	
6485.14	オヤイビ 〈古〉	オヤユビ
6485.46	オヤイビ 〈古〉 (ユビとイビとの区別は念を 押すと分らなくなり、微妙である。)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記	ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語)	(9)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6486.07	オヤヒ オヤユビ この時 オヤユビの音が出たので ユとイとをたしかめたところ。やはり、 イがこのあたりの言葉であり、自分も 意識しない。いうときは、自然にイ あるということになった。この人は、共通 語意識が強いのである。	
6486.50	オヤヒ 今の者はユビという。以下同じ。	
6487.43	オヤヒ <古>	イヤユビ
6500.22	オヤユビ ヤ化 [ojajbi] と発音される場合 が多いはずであるが、答は [ju] とした	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記	ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語)	(10)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	得られた。064~067. 何れも同じ。	
6516.10	オヤイク オヤユビ (ユビ、イクのどちらを主として使っているか使用している被調査者自体ははっきりしない。どちらも使っているといる。)	
6522.93	オヤイク ④	オヤユビ
6538.02	ojaibi <古>……<老人に多い>	ojajubi
6552.90	ojaibi (「オヤイク」)(このアクセントは調査者である私の「オヤイク」とは異なるものであった)	
6560.40	オヤイク <ともしこえるであろう>	オヤユビ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記	ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語)	(11)
		(C 除いた特称語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6570.89	オユビ <男指だから>	オヤユビ
6572.97	ojabi ( [ojabi] ではない )	
6580.66	オヤビ <古>	オヤユビ
6639.43	ojaebi (eは狭く前寄り)	
6698.20	ojaibi <そんざいな言い方>	
7246.45	ojaip <sup>o</sup> oは内破音	
7248.49	u:jubi <これが普通だ>	ojajubi
7268.87	u:jubi <希>	ojajubi
7309.37	ojaibi <子どものとなえこととは opikorofsi >	
	beʃi kaʃi tataʃiro ʃitosaʃiibino	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記	ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語)	(12)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	opikoroji とい	
7340.24	u:jubi <古>	ojajubi
7350.44	ojajubi u:jubi <どちらも使う>	
7350.96	u:jupi, u:jubi. (ユビ(bi)ともなるがしせん の発音では母音の聞えの弱い piである)	
7375.96	oja'ibi 指は化と訛る。夢もイと言ったり する。	
7500.24	オヤヒ<古>	オヤユヒ
7501.14	オヤヒ<古>	オヤユヒ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。  
▶ その中での情報は地点番号順に並べる。  
▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記 ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (13)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7513.01	オヤイビ <古>	オヤユビ
7513.43	オヤイビ <古>	オヤユビ
7521.16	オヤイビ <古>	オヤユビ
7521.79	オヤイビ <古>	オヤユビ
8305.76	oja'ibi オヤイ・ビと オヤ・イビとをはっきり 区別するために、オヤイ・ビは [oja'ibi] と記し、オヤ・イビは [oja'ibi] と記す 以下同じ。	
8313.72	ojait (itは ibiの末尾音節の入声化)	
8313.88	ojait ('指'はイビ, それを /it/ という。)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記 ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (14)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
8322.43	ojaik (ojaitにあらず)	
8324.83	ojajut (jubiはjutと言うことが多い)	
8325.03	ojajubi (ゆくり言わせるとこの形になる。 日常は化であると思う。以下同じ)	ojaibi
8325.56	ojaibi, ojajubi, (ibiと言ったり jubiと言ったり 安定していない。以下同じ)	
8325.77	ojaibi (指を/jubi/ということは知ってお り、改まった場合には、それを言うが 平素は/ibi/である。)	
8345.18	ojaibi (ibiはjubiとも言い安定して	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記 ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (15)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
	いない。以下同じ。)	
0228.96	u:bi < u:bi = おやゆび ubi = ゆび >	
1261.32	uhu:zi:bi [ <sup>かしら</sup> 頭になる人の意には aɕa:i:bi と いう。それからして昔は aɕa:zi:bi が親指の意味につかわれたと 考えられる。]	
2141.71	zmmauibi < zmma は母。 >	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。  
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。  
 ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記 〜
項目名 おや指		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (1)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
2750.43	オヤユビ <新><共>	オドユビ <普通に使う>
2793.51	ojajumbī <共>	odojumbī
3761.74	ojajūbī (新)	odojūbī (古)
4672.19	ojajumbi <共>	o:ubi
4676.67	ojajumbi <共><新>	ojajobi
4706.53	ojajumbi (共)	o:jumbi
4736.63	ojajumbi <新>	ojumbi <古>
5567.46	オヤユビ <丁>	オヤヒ
5568.22	オヤユビ <共>	オヤヒ
5568.57	オヤユビ <共>	オヤヒ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( ) ( )は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記 ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (2)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5569.36	オヤユビ <共>	オヤイビ
5588.02	オヤユビ <共>	オヤイビ
5597.26	オヤユビ <共>	オヤイビ
5598.67	オヤユビ <共>	オヤイビ
5599.41	オヤユビ <共>	オヤイビ
5599.75	オヤユビ <共>	オヤイビ
5651.95	ojajubi <共>	ojaibi
5671.94	ojajubi <共>	ojaibi
6415.78	ojajubi <上>	ojaibe
6418.13	オヤユビ <共希>	オヤイビ

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記 ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (3)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6418.75	オヤユビ <共>	オヤビ
6419.50	オヤユビ <共>	オヤイベ
6429.65	オヤユビ <希共>	オヤイベ
6437.07	オヤユビ <共希新>	オヤイベ <単に指 其のものの名はイベ>
6485.46	オヤユビ <新>	オヤビ <古> (ユビとビとの区別は 念を押すと分らなくなり. 微妙である)
6486.50	オヤユビ 新	オヤビ 今の者はユビという.
6505.58	オヤユビ <改>	オヤビ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記	ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語)	(4)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6507.13	オヤユビ 〈共〉	オヤイビ
6508.06	オヤユビ 〈共〉	オヤイビ
6508.36	オヤユビ 〈共〉	オヤイビ
6516.15	オヤユビ 〈共〉	オヤイビ
6516.85	オヤユビ 〈共〉	オヤイビ
6517.77	オヤユビ 〈共〉	オヤイビ
6526.04	オヤユビ 〈共〉	オヤイビ
6526.08	オヤユビ 〈共〉	オヤイビ
6526.45	オヤユビ 〈共〉	オヤイビ
6526.98	オヤユビ 〈共〉	オヤイビ

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉( ) ( ) は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記	ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語)	(5)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6532.89	オヤユビ 〈希〉	オヤビ
6580.06	オヤユビ 〈共〉	オヤビ
6580.33	オヤユビ 〈共〉	オヤビ
6590.35	オヤユビ 〈新〉	オヤビ
6620.20	オヤユビ 〈改〉〈改まったとき〉	オヤビ
6629.98	ojajubi 〈新〉	ojaibi
6698.20	ojajubi 〈丁寧な言い方〉	ojaibi 〈さんざいな言い方〉
7340.74	ojajubi 〈新〉	u:jubi
7502.91	オヤユビ 〈新〉	オヤビ
7512.43	オヤユビ 〈新〉	オヤビ

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>( )〔 〕は厳密にする。

質問番号 063	地図番号 121	A 普通注記 ページ
項目名 おや指		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (6)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7513.69	オヤユビ <共>	オヤヒビ
7523.27	オヤユビ <新>	オヤヒビ
7523.30	オヤユビ <共>	オヤヒビ
7533.12	オヤユビ <新しいいいオ>	オヤヒビ
8325.77	ojajubi <共>	ojabi (指を/jubi/という ことは知っており、改まった場 合には、それを言うが、平素は /ibi/である。)